

楽しい夕暮れのひととき

赤岡保育所30周年記念・夕涼み会

赤岡保育所30周年記念夕涼み会が7月14日(金)に行われました。

心配された雨も上がって、保護者による劇「スイミー」も上演され、園児たちは歌ったり、踊ったり、花火を見たりと、夏の夕暮れのひとときを楽しみました。

また、おとうさんやおかあさんたちが赤岡保育所の園児だった頃のスライドも上映され、当時を懐かしみました。



子どもたちを地域で守ろう！

青少年健全育成会議

七月十八日(火)香我美町保健福祉センターで、香我美地区青少年健全育成会議設立総会が行われました。この会議は、香我美地区の青少年の育成を図るためにPTA代表や児童民生委員等で構成されています。当日は、約三十人の委員が出席し、事業計画や予算について審議を行いました。総会後には、少年サポートセンター少年補導員の吉本堅一さんを講師に、最近の青少年の携帯を使った犯罪被害や状況について、研修を受けました。



幸せをあきらめない

差別をなくする強調旬間・香南市記念講演会



七月十三日(木)のいちふれあいセンターで、部落差別をなくする運動「強調旬間の記念講演会」が開催されました。吉川町若竹会による伝承太鼓・獅子舞、赤岡中二年久保沙也夏さんが、人権作文、自分が今しなくてはいけないことを発表し、タレントのなべおさみさんは、「幸せをあきらめない」と題し、「思っているだけではなく行動を起こそう！差別は、薄皮をはぐように改善されているが、差別反対の訴えをまとめてはいけない」と呼びかけました。



楽しく住みやすいまちづくりを

香南市振興計画審議会スタート

香南市発足に伴い、平成19年度を初年度として平成28年度を目標に策定する「香南市第1次振興計画」の審議がスタートしました。

審議会では、市の目指すべき姿とそれを実現するための基本理念や施策の方向性について定める「基本構想」、またそれに基づき具体的な施策や事業について定める「前期基本計画(平成19年～23年)」について審議します。第1回審議会は、7月18日(火)に開催し、会長、副会長が決まり、「今後の審議の進め方」等について意見交換を行いました。

次回審議会は、基本構想の素案及び施策の体系について審議する予定です。なお、審議会は、傍聴できます。

第2回審議会は、9月7日(木)午後1時30分～吉川総合センターで行われます。詳細については企画課 ☎ 57-8503 までお問い合わせください。



海神祭で安全祈願



七月一日(土)、夜須町手結の海開きにヤ・シイパーク、ビーチハウスで海神祭が行われ、市長や「道の駅やす」の駅長ら、関係者約三十人が集まり海の安全を祈願しました。例年のように、この日も朝からぐずついた空模様でしたが、午後からは海開きに合わせたような上天気になりました。砂浜では、親子連れや大学生などが初夏の海を気持ちよさそうに楽しんでいました。

エイヤッ！で ストレス退散！

のいちふれあいセンターでソフトボクササイズ

かがみスポーツクラブでは、七月をストレス発散月間とし二日(日)、野市会場と香我美会場で、ソフトボクササイズ」の体験セミナーを開催しました。この日、参加したのは二十六人。アップビートな音楽とインストラクターの軽快な掛け声に合わせて、パンチ・パンチ・キック！約一時間、身体を動かしたあと全員汗びっしょり。参加者は「楽しくて、すっきりいい気持ち。運動不足の解消にもなりました」と汗を拭いていました。



なかよくしてね！

野市中3年生 保育所・幼稚園で訪問実習

7月6日(木)、野市中3年生147名が市内4カ所の保育所と幼稚園で保育実習をしました。普段は、小さい子どもにふれる機会がなく緊張した表情で野市東保育所を訪れた生徒たち。すぐに園児たちの大歓迎を受け、園内のあちこちで楽しそうに一緒に遊ぶ姿が見られました。約2時間の実習を終えた生徒たちとお別れには泣き出す園児も。

生徒たちは、自分の小さいころを思い出し、楽しく温かい気持ちになったと話していました。



よさこい踊りでパレード

社会を明るくする運動



七月を強調月間とした「社会を明るくする運動」は昭和二十六年から今年で五十六回を数えます。香南市では、七月六日(木)に市役所玄関前で決起大会が行われました。犯罪や非行のない明るい社会を築こうと二百人近くの参加者が、「のいちふれあいセンター」から「フジグラン野市」までをよさこいの踊り子隊を先頭に、安全・安心の社会を築こうと啓発のチラシを配りながらパレードしました。